

サントリーグループと協定を締結

～ペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）に向けて～

サントリーグループと協働し、令和5年4月1日から、市内の各家庭で排出される使用済みペットボトルを新たなペットボトルとして再生させる「ボトル to ボトル」水平リサイクル（※1）を開始します。

ペットボトルは、何度も水平リサイクルが可能な資源であるにもかかわらず、国内の回収量に対して、水平リサイクルされる割合は15.7%に留まっています（※2）。残りはトレーや繊維等にリサイクルされ、その後は燃料として焼却されているのが現状です。

今回、「リサイクル適正が高く、再資源化の仕組みが整っているペットボトルを資源として循環させていくことで持続可能な社会の実現に貢献する」という双方の理念が一致し、協定を締結するに至りました。

本事業開始後は、サントリーグループとの協定に基づき、リサイクル業者を指定することで、ボトル to ボトルの水平リサイクルに特化し、ペットボトルの循環化を推進します。

（※1）水平リサイクルとは、使用済み製品を原料として用いて同一種類の製品につくりかえるリサイクルのこと

（※2）PET ボトルリサイクル推進協議会 年次報告書2021（2020年度実績）



■■本事業により図られる効果■■

- ・「再生用途の見える化」により、市民のごみの分別に対する意識向上およびリサイクル率アップ
- ・「ボトル to ボトル」（CO2 排出量を約 60%削減※3）の仕組みにより、脱炭素化・資源の循環化
- ・安定した売却先を確保することにより、長期的な市の歳入の安定化

（※3）新たに化石由来原料を使用する場合との比較

■■貢献する持続可能な開発目標（SDGs）■■



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



14 海の豊かさを守ろう

■■協定締結式■■

令和4年11月15日（火）午後1時

出席者：河内長野市 島田智明市長

サントリーホールディングス（株）

常務執行役員永島幸一氏ほか

